

みんなのひろば 声



佐々木博史
(中山口)

としよりのひとりごと

私は平均寿命をとつくにすぎました。
少子高齢化の現在、厚労省は百歳以上の人が5万人を超える」と発表しています。
一方、子どもの数は年々減つ

ております。なぜ子どもを産まないか、諸説はありますが、本当の理由は不明です。
各地で学校の統廃合がみられます。現に私が住んでいる地域でも、児童数が少なく、

一学級やつの学年もありません。結果、部活動もままならず、学校教育に影響しております。
集落にある多くの広場の立派な遊具も閑散としておりません。
電子音を響かせてのパソコン・ゲームはうまくても、棒切れを持つての遊びはできません。
子は宝です。少数の宝の活躍に期待しております。



谷田栄司
(古原)

みてふれてのつて 馬野背クラブ

「馬の背中から雄大な大山を眺めたい」そんな想いから『大山馬野背クラブ』と名付けました。大山を仰ぎ見る陣構分校跡地に仲間が集い、自分たちで厩舎とパドックを作り、

馬を飼い始めて5年目に入りました。
現在、小学生から60代までの会員29名が『ロック』『アグネス』『コユキ』の3頭を世話しながら乗馬や会話を楽しん

でいます。乗馬はとかく敷居が高いイメージですが、我がクラブのモットーは、誰でも気軽に馬に触れあい、乗馬を楽しんでいただくことです。
小学校の親子行事や親子連れで訪れていただく方も増えてきました。毎週水・土・日の午後には乗馬体験ができます。あなたもどうぞ馬に癒されにお出かけください。



勝部陽子
(国信)

「大山町子育ての旅」に参加して

伯耆町から大山町に嫁いできて4年。二人の幼い子どもと一緒に、大山を仰ぎ日本海を見下ろしながら田んぼの畦道を散歩する時、幸せだなあと感じます。
「子育ての旅」16期生に参加

し、乳幼児期の心の発達や子育てについて松本寿栄子先生を中心に学びました。子どもへの関わり方や食事の事など、悩みは皆同じだなと感じました。知り合いも少ない中、「子育て

の旅」で心強い仲間ができて、感謝しています。
また、親子の安定した愛着関係が子どもの人間形成の基礎となることを改めて学びました。
幼い命に注がれた母の愛は、一生を支えるエネルギーとなります。この大山町で愛情いっぱい子育てをし、子どもと共に成長していきたいです。

あしがき

厳しい冬も去り、暖かな風に誘われて、春の草花が咲き、山々も新緑に包まれる季節となりました。

竹口町長就任後初めての予算編成となる新年度予算も可決され、大山開山1300年祭もまたたなしとなりました。
春の例大祭も近づいて来ましたが、この機会をとらえ、大山町の観光を官民一体となつて、盛り上げたいものです。

議会だよりは、皆さんに手に取つて頂けるよう、読みやすい誌面を目指し、編集委員一同、議会終了後すぐに、皆一丸となつて頑張っています。

皆さんからのご意見、ご感想を是非お寄せください。お待ちしております。

(古原)

- 【発行責任者】 議長 杉谷 洋一
 【広報常任委員会】
 委員長 大原 広巳
 副委員長 森本 貴之
 委員 野口 俊明
 委員 吉原美智恵
 委員 近藤 大介
 委員 米本 隆記
 委員 門脇 輝明
 委員 杉谷 洋一



議会だより だいせん
Public relations magazine of Daisen town council

2018.5 NO.52

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会
〒6689-3211 鳥取県西伯郡大山町御来屋328
☎ 0859-54-5213 ☎ 0859-54-5214

議会だよりのご感想をお寄せください